

Dedicated to the Fight against Disease and Pain

病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、挑戦を続けています。



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第74期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)は、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」が、非小細胞肺癌一次治療や食道がん、胃がん一次治療での使用が拡大したほか、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」等の主要新製品が堅調に推移しました。また、ロイヤルティ収入も増加し、売上収益が拡大しました。

利益面では、研究開発費などの費用が増えたものの、製品売上が堅調に増加したことを受け、4期連続の増収増益を達成することができました。

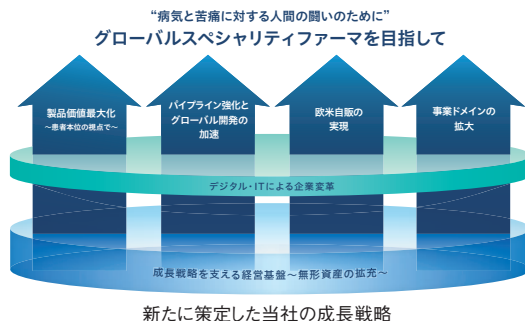
新薬創製の成功確率が年々低下し、研究開発コストが増大する一方、国内では医療費の抑制に向けた薬剤費抑制政策が進んでいます。製薬会社には厳しい環境下ではありますが、わたしたちは、病気で苦しんでいる世界中の患者さんに革新的な新薬を一日も早くお届けできるよう、一丸となって挑戦を続けてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 相良 暁

【持続的な成長に向けた成長戦略】

当社では、今後のさらなる持続的な成長を目指し、4つの成長戦略を定めて事業活動に取り組んでいます。また、成長戦略を支える経営基盤として、無形資産の拡充に努めてまいります。



【成長戦略】

▽「製品価値最大化～患者本位の視点で～」

患者さんとその家族の視点に立って、スピーディかつ効果的な開発、競争力のあるマーケティング、そして精緻な情報提供・収集に取り組めます。主力製品の一つであるオプジーボでは、適応がん腫や治療ラインの拡大、併用療法の開発を進めており、製品のポテンシャルを最大限引き出せるよう取り組んでいます。

▽「欧米自販の実現」

欧米での販売を実現し、より多くの患者さんの医療ニーズに貢献するとともに、持続的な成長を目指します。既に自社販売を開始している韓国、台湾に加え、今後は欧米でも自販を目指します。現在、米国でのONO-4059(アレキシブル錠)をはじめ、欧米で複数の開発プロジェクトを進めており、早期の自社販売体制を構築します。

▽「パイプライン強化とグローバル開発の加速」

持続的な成長を目指し、がん、免疫、神経、スペシャリティを重点研究領域に据え、世界をリードする大学やベンチャー企業との共同研究・創薬提携を強化するとともに、革新的な化合物の導入を積極的に進め、パイプラインの充実を図っていきます。そして、それらについて、欧米を含むグローバルな臨床開発を加速していきます。

▽「事業ドメインの拡大」

ヘルスケア分野の拡大するニーズをとらえ、新たな価値の提供を目指します。小野薬品ヘルスケア株式会社は本年、蓄積した研究資産を生かし、機能性表示食品睡眠サプリメント「REMWELL(レムウェル)」を発売しました。今後も医療用医薬品で培ったノウハウを活用することで新たな事業を創出し、健康寿命の延伸など社会課題の解決に挑戦します。

【成長戦略を支える経営基盤 無形資産の拡充～】

成長戦略を支える経営基盤として、グローバル化を見据えたIT基盤への刷新や、創薬バリューチェーンの変革をはじめとしたデジタルトランスフォーメーションの推進、世界を舞台にビジネスができるグローバル人材や経営人材の育成等の無形資産の拡充に努めてまいります。